

2024年12月24日

会社名 株式会社 NEXYZ.Group  
本店所在地 東京都渋谷区桜丘町20番4号  
代表者 代表取締役社長 近藤太香巳  
上場取引所 証券コード 4346 東証スタンダード  
問い合わせ先 責任者役職名 専務取締役管理本部長  
氏名 松井康弘  
電話番号 (03) 5459-7444

各位

## (訂正・数値データ訂正)「2024年9月期決算短信〔日本基準〕(連結)」 の一部訂正について

当社が2024年11月14日に開示いたしました「2024年9月期 決算短信〔日本基準〕(連結)」につきまして、記載の内容の一部に訂正すべき事項がありましたので、下記のとおりお知らせいたします。また、数値データ(XBRL)にも訂正がありましたので、訂正後の数値データも送信します。

### 記

#### 1. 訂正理由

「2024年9月期 決算短信〔日本基準〕(連結)」の提出後に、連結財務諸表の契約負債の金額、税金計算、個別財務諸表の子会社の貸倒引当金の計算で訂正すべき事項が判明したため、訂正を行うものです。

#### 2. 訂正内容

訂正箇所が複数に及ぶことから、訂正後の全文を添付し、訂正箇所には下線を付して表示しております。

以上

## 2024年9月期 決算短信〔日本基準〕（連結）

2024年11月14日

上場会社名 株式会社NEXYZ Group 上場取引所 東  
 コード番号 4346 URL <https://www.nexyzgroup.jp/>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 近藤 太香巳  
 問合せ先責任者 (役職名) 専務取締役 管理本部長 (氏名) 松井 康弘 TEL 03-5459-7444  
 定時株主総会開催予定日 2024年12月20日 配当支払開始予定日 2024年12月23日  
 有価証券報告書提出予定日 2024年12月20日  
 決算補足説明資料作成の有無：有  
 決算説明会開催の有無：無（動画配信のみ。）

(百万円未満切捨て)

### 1. 2024年9月期の連結業績（2023年10月1日～2024年9月30日）

#### (1) 連結経営成績

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年9月期	24,497	11.6	1,189	55.2	1,156	59.2	611	△18.3
2023年9月期	21,953	14.3	766	100.4	726	92.4	748	302.7

(注) 包括利益 2024年9月期 2,054百万円 (96.6%) 2023年9月期 1,045百万円 (271.7%)

	1株当たり当期純利益	潜在株式調整後1株当たり当期純利益	自己資本当期純利益率	総資産経常利益率	売上高営業利益率
	円 銭	円 銭	%	%	%
2024年9月期	47.04	—	28.9	6.8	4.9
2023年9月期	57.56	—	52.1	5.0	3.5

(参考) 持分法投資損益 2024年9月期 ー百万円 2023年9月期 ー百万円

(注) 潜在株式調整後1株当たり当期純利益については、潜在株式が存在していないため、記載していません。

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2024年9月期	18,342	5,218	13.9	196.06
2023年9月期	15,445	3,701	10.9	129.01

(参考) 自己資本 2024年9月期 2,550百万円 2023年9月期 1,678百万円

#### (3) 連結キャッシュ・フローの状況

	営業活動によるキャッシュ・フロー	投資活動によるキャッシュ・フロー	財務活動によるキャッシュ・フロー	現金及び現金同等物期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
2024年9月期	1,028	124	△285	5,849
2023年9月期	2,747	298	△896	4,982

### 2. 配当の状況

	年間配当金					配当金総額(合計)	配当性向(連結)	純資産配当率(連結)
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計			
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	百万円	%	%
2023年9月期	—	0.00	—	20.00	20.00	260	34.7	18.1
2024年9月期	—	0.00	—	20.00	20.00	260	42.5	12.3
2025年9月期(予想)	—	0.00	—	20.00	20.00		37.2	

### 3. 2025年9月期の連結業績予想（2024年10月1日～2025年9月30日）

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	25,500	4.1	1,500	26.1	1,500	29.7	700	14.4	53.81

(注) 第2四半期(累計)の業績予想は行っていません。詳細は4ページ「1. 経営成績等の概況(4) 今後の見通し」をご覧ください。なお、1株当たり当期純利益の予想数値につきましては、2024年9月期の期末発行済株式数(自己株式控除後)を使用して算出しております。

※ 注記事項

(1) 期中における連結範囲の重要な変更：無  
新規 ー社 (社名)、除外 ー社 (社名)

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更：無  
② ①以外の会計方針の変更：無  
③ 会計上の見積りの変更：無  
④ 修正再表示：無

(3) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)	2024年9月期	13,471,240株	2023年9月期	13,471,240株
② 期末自己株式数	2024年9月期	462,147株	2023年9月期	461,661株
③ 期中平均株式数	2024年9月期	13,009,315株	2023年9月期	13,009,983株

(参考) 個別業績の概要

1. 2024年9月期の個別業績 (2023年10月1日~2024年9月30日)

(1) 個別経営成績 (%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年9月期	10,410	△2.5	△54	—	△229	—	66	△74.7
2023年9月期	10,674	7.0	△287	—	△434	—	262	—

	1株当たり 当期純利益	潜在株式調整後 1株当たり当期純利益
	円 銭	円 銭
2024年9月期	5.12	—
2023年9月期	20.22	—

(注) 潜在株式調整後1当たり当期純利益金額については、潜在株式が存在していないため記載しておりません。

(2) 個別財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2024年9月期	11,988	2,915	24.3	224.14
2023年9月期	12,049	3,031	25.2	233.00

(参考) 自己資本 2024年9月期 2,915百万円 2023年9月期 3,031百万円

※ 決算短信は公認会計士又は監査法人の監査の対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料4ページ「1. 経営成績等の概況 (4) 今後の見通し」をご覧ください。

## ○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況 .....	2
(1) 当期の経営成績の概況 .....	2
(2) 当期の財政状態の概況 .....	3
(3) 当期のキャッシュ・フローの概況 .....	3
(4) 今後の見通し .....	4
2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方 .....	4
3. 連結財務諸表及び主な注記 .....	5
(1) 連結貸借対照表 .....	5
(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書 .....	7
(3) 連結株主資本等変動計算書 .....	9
(4) 連結キャッシュ・フロー計算書 .....	11
(5) 連結財務諸表に関する注記事項 .....	12
(継続企業の前提に関する注記) .....	12
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	12
(セグメント情報等の注記) .....	12
(1株当たり情報) .....	14
(重要な後発事象) .....	14

## 1. 経営成績等の概況

### (1) 当期の経営成績の概況

当連結会計年度における我が国の経済は、円安によるインバウンド需要の増加や、雇用・所得環境の改善により景気は緩やかな回復傾向にありました。一方で、欧米における高金利水準の継続や中国経済の先行き懸念が国内経済に与える影響など依然として先行き不透明な状況が続いております。GDP伸び率は、2024年4月～6月に前年同月比0.7%増となりました。消費者物価指数（生鮮食品除く）は、前年同月比2.0%～2.9%の間で推移しております。

このような状況の下、当社グループでは、「エンベデッド・ファイナンス事業」「メディア・プロモーション事業」の2事業の拡大に注力しております。当連結会計年度においては、引き続き店舗施設への設備導入や法人顧客の広告掲載が増加いたしました。

これらの結果、売上高24,497百万円（前年同期比11.6%増）、営業利益1,189百万円（前年同期比55.2%増）、経常利益1,156百万円（前年同期比59.2%増）となり、親会社株主に帰属する当期純利益611百万円（前年同期比18.3%減）となりました。

当連結会計年度における報告セグメントの概況は次のとおりであります。

なお、当連結会計年度より、従来の「電子メディア事業」の名称を「メディア・プロモーション事業」に変更しております。この変更はセグメントの名称変更のみであり、セグメント情報に与える影響はありません。

#### [エンベデッド・ファイナンス事業]

エンベデッド・ファイナンス事業では、設置工事費用を含めた初期投資オールゼロで、顧客に最新の省エネルギー設備等を導入できる「ネクシーズZERO」の提供、利用者獲得業務及び省エネルギー設備等の販売を行っております。

当連結会計年度においては、金融機関とのパートナー関係を強化・拡大してきたことで案件紹介が着実に増加いたしました。これにより、潜在的な需要が見込める顧客に営業活動を実施する事が出来たため、円滑に提案を進めることができました。また、全国に拠点を増やしてきたことに加えて、中途採用や採用地域の拡大にも積極的に取り組み、社員の増員を進めたことで受注の増大に繋がりました。

これらの結果、エンベデッド・ファイナンス事業は、売上高19,703百万円（前年同期比13.2%増）、セグメント利益1,138百万円（前年同期比4.2%増）となりました。

#### [メディア・プロモーション事業]

メディア・プロモーション事業では、企業プロモーション支援を目的として、インターネットを主とした各種サービスを提供しております。

当連結会計年度においては、タレントを起用した企業プロモーション支援プロジェクト「アクセルジャパン」が全国規模での販売を実現し、業績拡大を牽引してまいりました。また、電子雑誌業務においては、観光や外食の需要回復を背景に、主力電子雑誌「旅色」の宿泊施設や飲食店などの民間企業からの広告掲載売上が増加いたしました。ECサポートサービス等を行うソリューション業務においては、業務効率化を進めたことにより営業利益が改善いたしました。

これらの結果、メディア・プロモーション事業は、売上高4,803百万円（前年同期比6.1%増）、セグメント利益944百万円（前年同期比63.2%増）となりました。

#### [その他事業]

その他事業では、電力小売「ネクシーズ電力」の提供を行っております。当連結会計年度においては、電力供給業務を他社に移管したことから、電気代の回収代行・既存顧客への窓口対応のみ行ってまいりました。

これらの結果、その他事業は、売上高12百万円（前年同期比56.9%減）、セグメント利益3百万円（前年同期はセグメント損失39百万円）となりました。

## (2) 当期の財政状態の概況

当連結会計年度末の総資産は18,342百万円となり、前連結会計年度末に比べて2,897百万円の増加となりました。

## ① 資産の状況

## (流動資産)

流動資産は12,578百万円となり、前連結会計年度末に比べて1,436百万円の増加となりました。これは主に、現金及び預金が862百万円、受取手形及び売掛金が360百万円増加したことによるものであります。

## (固定資産)

固定資産は5,763百万円となり、前連結会計年度末に比べて1,460百万円の増加となりました。これは主に、繰延税金資産が269百万円減少した一方で、投資有価証券が1,719百万円増加したことによるものであります。

## ② 負債の状況

## (流動負債)

流動負債は10,464百万円となり、前連結会計年度末に比べて994百万円の増加となりました。これは主に、買掛金が303百万円、解約調整引当金が753百万円増加したことによるものであります。

## (固定負債)

固定負債は2,659百万円となり、前連結会計年度末に比べて385百万円の増加となりました。これは主に、長期借入金（1年内返済予定を除く）が65百万円、繰延税金負債が340百万円増加したことによるものであります。

## ③ 純資産の状況

当連結会計年度末の純資産合計は5,218百万円となり、前連結会計年度末に比べて1,516百万円の増加となりました。主な内訳は、非支配株主持分が644百万円、利益剰余金が351百万円、その他有価証券評価差額金が600百万円増加したことによるものであります。

## (3) 当期のキャッシュ・フローの概況

当連結会計年度における現金及び現金同等物（以下、「資金」）の期末残高は5,849百万円となり、前連結会計年度末残高4,982百万円と比べて867百万円の増加となりました。当連結会計年度における各キャッシュ・フローの状況とそれらの増減要因は次のとおりであります。

## (営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果得られた資金は1,028百万円（前年同期は2,747百万円の収入）となりました。これは主に、調整項目として投資有価証券売却益398百万円、売上債権の増加額360百万円があった一方で、税金等調整前当期純利益1,534百万円、減価償却費及びその他の償却費123百万円、棚卸資産の減少額122百万円があったことによるものであります。

## (投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果得られた資金は124百万円（前年同期は298百万円の収入）となりました。これは主に、投資有価証券の取得による支出199百万円、有形固定資産の取得による支出52百万円、その他52百万円があった一方で、投資有価証券の売却による収入455百万円があったことによるものであります。

## (財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果使用した資金は285百万円（前年同期は896百万円の支出）となりました。これは主に、長期借入れによる収入1,700百万円があった一方で、長期借入金の返済による支出1,809百万円、配当金の支払額262百万円があったことによるものであります。

## (4) 今後の見通し

次期の見通しにつきましては、以下のとおりです。

## [エンベデッド・ファイナンス事業]

エンベデッド・ファイナンス事業においては、業務用のLED照明、冷蔵庫、空調を中心として様々な設備を取り扱っております。今後も引き続き取扱商材の幅を広げてまいります。同事業では日本全国に30か所以上の営業拠点を設けており、現地採用による人員の増員や、地方銀行や信用金庫との連携強化、子会社の現地法人化を促進することで地域に根差した営業活動も強化してまいります。これらの施策により、顧客の幅広い設備投資需要に対応すると同時に、潜在顧客の掘り起こしに注力し、業容の拡大を目指してまいります。足元の顧客の設備投資需要も堅調に推移していることから引き続き受注も増加するものと予想しております。

## [メディア・プロモーション事業]

プロモーション支援業務につきましては、タレントを起用した企業プロモーション支援プロジェクト「アクセルジャパン」において、引き続き新規契約、更新契約を増やし、大幅な売上高増を目指してまいります。

電子雑誌業務につきましては、主力電子雑誌「旅色」において、インバウンド対策の強化やニーズにあわせた新商材を柔軟に追加する多商材化戦略により、広告売上への更なる増加を目指してまいります。

ソリューション業務については、主力サービスである「ECサポートサービス」等の国内外での事業領域の拡大を図ってまいります。

## [その他事業]

その他事業につきましては、電気代の回収代行・既存顧客への窓口対応のみ行っており、影響は軽微と見込んでおります。

上記各事業の前提に基づき、主要事業であるエンベデッド・ファイナンス事業、メディア・プロモーション事業がそれぞれ引き続き伸長することで、増収増益を見込んでおります。

2025年9月期 通期連結業績見通し (2024年10月1日～2025年9月30日)

売上高	25,500百万円
営業利益	1,500百万円
経常利益	1,500百万円
親会社株主に帰属する当期純利益	700百万円

## 2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方

当社グループは、連結財務諸表の期間比較可能性及び企業間の比較可能性を考慮し、会計基準につきましては日本基準を適用しております。なお、IFRS（国際財務報告基準）の適用につきましては、国内外の情勢を考慮の上、適切に対応していく方針であります。

## 3. 連結財務諸表及び主な注記

## (1) 連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2023年9月30日)	当連結会計年度 (2024年9月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	4,982	5,844
受取手形及び売掛金	2,520	2,880
リース債権	3,172	3,255
商品	617	471
未収入金	434	505
前払費用	299	300
その他	368	518
貸倒引当金	△1,253	△1,197
流動資産合計	11,142	12,578
固定資産		
有形固定資産		
建物	1,337	1,355
減価償却累計額	△360	△394
建物（純額）	976	960
工具、器具及び備品	914	935
減価償却累計額	△817	△840
工具、器具及び備品（純額）	97	95
その他	35	35
減価償却累計額	△32	△34
その他（純額）	2	0
有形固定資産合計	1,077	1,056
無形固定資産		
のれん	0	0
ソフトウェア	98	101
無形固定資産合計	98	101
投資その他の資産		
投資有価証券	1,027	2,746
敷金及び保証金	645	624
破産更生債権等	1,140	845
繰延税金資産	924	655
その他	563	587
貸倒引当金	△1,173	△852
投資その他の資産合計	3,127	4,605
固定資産合計	4,303	5,763
資産合計	15,445	18,342



(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2023年9月30日)	当連結会計年度 (2024年9月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	1,825	2,129
短期借入金	1,700	2,100
1年内返済予定の長期借入金	1,636	1,461
未払金	738	663
未払法人税等	280	278
契約負債	217	139
リース債務	145	149
解約調整引当金	1,554	2,308
賞与引当金	333	499
その他	1,037	735
流動負債合計	9,469	10,464
固定負債		
長期借入金	1,928	1,993
繰延税金負債	93	434
その他	252	231
固定負債合計	2,274	2,659
負債合計	11,743	13,124
純資産の部		
株主資本		
資本金	100	100
資本剰余金	1,130	1,051
利益剰余金	1,155	1,507
自己株式	△898	△899
株主資本合計	1,487	1,759
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	188	788
為替換算調整勘定	2	2
その他の包括利益累計額合計	190	791
非支配株主持分	2,023	2,667
純資産合計	3,701	5,218
負債純資産合計	15,445	18,342

(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書  
(連結損益計算書)

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (自 2022年10月1日 至 2023年9月30日)	当連結会計年度 (自 2023年10月1日 至 2024年9月30日)
売上高	21,953	24,497
売上原価	10,447	11,751
売上総利益	11,505	12,745
販売費及び一般管理費	10,739	11,556
営業利益	766	1,189
営業外収益		
受取手数料	23	9
貸倒引当金戻入額	—	25
その他	21	11
営業外収益合計	44	46
営業外費用		
支払利息	28	31
投資事業組合運用損	9	10
貸倒引当金繰入額	33	—
寄付金	10	31
その他	3	5
営業外費用合計	84	79
経常利益	726	1,156
特別利益		
投資有価証券売却益	462	398
関係会社株式売却益	—	36
特別利益合計	462	435
特別損失		
投資有価証券評価損	0	57
特別損失合計	0	57
税金等調整前当期純利益	1,188	1,534
法人税、住民税及び事業税	425	477
法人税等還付税額	△127	—
法人税等調整額	△159	119
法人税等合計	138	596
当期純利益	1,049	937
非支配株主に帰属する当期純利益	300	325
親会社株主に帰属する当期純利益	748	611

(連結包括利益計算書)

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (自 2022年10月1日 至 2023年9月30日)	当連結会計年度 (自 2023年10月1日 至 2024年9月30日)
当期純利益	1,049	937
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△4	1,117
為替換算調整勘定	0	△0
その他の包括利益合計	△4	1,116
包括利益	1,045	2,054
(内訳)		
親会社株主に係る包括利益	744	1,212
非支配株主に係る包括利益	300	842

## (3) 連結株主資本等変動計算書

前連結会計年度(自 2022年10月1日 至 2023年9月30日)

(単位:百万円)

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	1,210	20	667	△898	999
当期変動額					
資本金から剰余金への振替	△1,110	1,110			—
剰余金の配当			△260		△260
親会社株主に帰属する当期純利益			748		748
自己株式の取得				△0	△0
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)					
当期変動額合計	△1,110	1,110	488	△0	488
当期末残高	100	1,130	1,155	△898	1,487

	その他の包括利益累計額			非支配株主持分	純資産合計
	その他有価証券評価差額金	為替換算調整勘定	その他の包括利益累計額合計		
当期首残高	193	2	195	1,672	2,867
当期変動額					
資本金から剰余金への振替					—
剰余金の配当					△260
親会社株主に帰属する当期純利益					748
自己株式の取得					△0
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)	△4	0	△4	350	346
当期変動額合計	△4	0	△4	350	834
当期末残高	188	2	190	2,023	3,701

当連結会計年度 (自 2023年10月1日 至 2024年9月30日)

(単位:百万円)

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	100	1,130	1,155	△898	1,487
当期変動額					
剰余金の配当			△260		△260
親会社株主に帰属する当期純利益			611		611
自己株式の取得				△0	△0
非支配株主との取引に係る親会社の持分変動		△79			△79
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)					
当期変動額合計	—	△79	351	△0	271
当期末残高	100	1,051	1,507	△899	1,759

	その他の包括利益累計額			非支配株主持分	純資産合計
	その他有価証券評価差額金	為替換算調整勘定	その他の包括利益累計額合計		
当期首残高	188	2	190	2,023	3,701
当期変動額					
剰余金の配当					△260
親会社株主に帰属する当期純利益					611
自己株式の取得					△0
非支配株主との取引に係る親会社の持分変動					△79
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)	600	△0	600	644	1,244
当期変動額合計	600	△0	600	644	1,516
当期末残高	788	2	791	2,667	5,218

## (4) 連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (自 2022年10月1日 至 2023年9月30日)	当連結会計年度 (自 2023年10月1日 至 2024年9月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前当期純利益	1,188	1,534
減価償却費及びその他の償却費	121	123
解約調整引当金の増減額 (△は減少)	505	753
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	659	△376
賞与引当金の増減額 (△は減少)	333	166
受取利息及び受取配当金	△2	△1
支払利息	28	31
投資有価証券売却損益 (△は益)	△462	△398
投資有価証券評価損益 (△は益)	0	57
関係会社株式売却損益 (△は益)	—	△36
売上債権の増減額 (△は増加)	△465	△360
リース債権の増減額 (△は増加)	335	△44
棚卸資産の増減額 (△は増加)	41	122
立替金の増減額 (△は増加)	△87	△83
仕入債務の増減額 (△は減少)	△13	303
未払消費税等の増減額 (△は減少)	579	△167
預り金の増減額 (△は減少)	△66	△138
その他	95	52
小計	2,791	1,538
利息及び配当金の受取額	2	1
利息の支払額	△28	△31
法人税等の支払額又は還付額 (△は支払)	△144	△480
過年度法人税等の還付額	127	—
営業活動によるキャッシュ・フロー	2,747	1,028
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
投資有価証券の取得による支出	△96	△199
投資有価証券の売却による収入	466	455
有形固定資産の取得による支出	△50	△52
無形固定資産の取得による支出	△31	△35
敷金及び保証金の差入による支出	△38	△35
敷金及び保証金の回収による収入	83	43
その他	△34	△52
投資活動によるキャッシュ・フロー	298	124
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	△500	400
長期借入れによる収入	2,230	1,700
長期借入金の返済による支出	△2,378	△1,809
配当金の支払額	△262	△262
連結の範囲の変更を伴わない子会社株式の取得による支出	—	△277
その他	14	△35
財務活動によるキャッシュ・フロー	△896	△285
現金及び現金同等物に係る換算差額	0	△0
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	2,150	867
現金及び現金同等物の期首残高	2,831	4,982
現金及び現金同等物の期末残高	4,982	5,849

## (5) 連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等の注記)

## 【セグメント情報】

## 1 報告セグメントの概要

当社の報告セグメントは、当社の構成単位のうち分離された財務情報が入手可能であり、取締役会が、経営資源の配分の決定及び業績を評価するために、定期的に検討を行う対象となっているものであります。

当社は、セグメント商品・サービスの内容の類似性等を考慮して報告セグメントを区分しており、「エンベデッド・ファイナンス事業」「メディア・プロモーション事業」の2つを報告セグメントとしております。

なお、各報告セグメントの事業内容は以下の通りであります。

報告セグメント	属するサービスの内容	主要な事業会社
エンベデッド・ファイナンス事業	初期投資ゼロの省エネルギー設備等導入サービス「ネクシーズZERO」の提供、利用者獲得業務及び省エネルギー設備等の販売	(株)NEXYZ. Group (株)NEXYZ. (株)NEXYZ. ファシリティーズ
メディア・プロモーション事業	電子雑誌の広告掲載及び制作受託 製品・サービスの販売促進、ノウハウや技術の提供、 コンサルティング業務 ウェブメディア運営 タレントを起用した企業PR支援	(株)ブランジスタ (株)ブランジスタエール (株)ブランジスタメディア (株)ブランジスタソリューション 博設技股份有限公司 (株)CrowdLab

(注) 当社は、前連結会計年度より、事業戦略をより明確に表現するため、セグメント名称を「ネクシーズ・ゼロ事業」から「エンベデッド・ファイナンス事業」へ変更しております。当該変更は名称変更のみであり、セグメント情報に与える影響はありません。

当連結会計年度より、事業戦略をより明確に表現するため、セグメント名称を「電子メディア事業」から「メディア・プロモーション事業」へ変更しております。当該変更は名称変更のみであり、セグメント情報に与える影響はありません。

なお、前連結会計年度のセグメント情報は、上記の変更を踏まえて作成・記載しております。

## 2 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産、その他の項目の金額の算定方法

事業セグメントの利益は営業利益をベースとした数値であります。セグメント間の内部収益及び振替高は市場実勢価格に基づいております。

3 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産、その他の項目の金額に関する情報  
前連結会計年度（自 2022年10月1日 至 2023年9月30日）

(単位：百万円)

	報告セグメント			その他	合計	調整額 (注) 1、2	連結財務 諸表計上額 (注) 3
	エンベデッド・ ファイナンス 事業	メディア・ プロモーション 事業	計				
売上高							
外部顧客への売上高	17,402	4,522	21,924	28	21,953	—	21,953
セグメント間の内部売上高 又は振替高	10	6	17	—	17	△17	—
計	17,413	4,529	21,942	28	21,970	△17	21,953
セグメント利益又は損失 (△)	1,093	578	1,672	△39	1,632	△866	766
セグメント資産	7,756	3,892	11,648	35	11,684	3,761	15,445
その他の項目							
減価償却費	31	32	63	0	64	57	121
有形固定資産及び無形固定 資産の増加額	52	45	97	—	97	14	111

- (注) 1. セグメント利益又は損失(△)の調整額△866百万円には、各報告セグメントに配分していない全社収益及び全社費用が含まれております。  
なお、全社収益は、主に連結子会社からの管理業務受託料であり、全社費用は主に報告セグメントに帰属しない持株会社運営に係る費用及び各報告セグメントに配分していない人件費等であります。
2. セグメント資産の調整額3,761百万円は、各報告セグメントに配分していない全社資産になります。全社資産は、主に親会社での余資運用資金(現金)、長期投資資金(投資有価証券)及び管理部門に係る資産等であります。
3. セグメント利益又は損失(△)は、連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

当連結会計年度（自 2023年10月1日 至 2024年9月30日）

(単位：百万円)

	報告セグメント			その他	合計	調整額 (注) 1、2	連結財務 諸表計上額 (注) 3
	エンベデッド・ ファイナンス 事業	メディア・ プロモーション 事業	計				
売上高							
外部顧客への売上高	19,687	4,797	24,485	12	24,497	—	24,497
セグメント間の内部売上高 又は振替高	15	5	21	—	21	△21	—
計	19,703	4,803	24,506	12	24,518	△21	24,497
セグメント利益又は損失 (△)	1,138	944	2,083	3	2,087	△898	1,189
セグメント資産	9,267	5,231	14,499	32	14,532	3,810	18,342
その他の項目							
減価償却費	35	36	71	0	72	50	123
有形固定資産及び無形固定 資産の増加額	31	56	87	—	87	5	93

- (注) 1. セグメント利益又は損失(△)の調整額△898百万円には、各報告セグメントに配分していない全社収益及び全社費用が含まれております。  
なお、全社収益は、主に連結子会社からの管理業務受託料であり、全社費用は主に報告セグメントに帰属しない持株会社運営に係る費用及び各報告セグメントに配分していない人件費等であります。
2. セグメント資産の調整額3,810百万円は、各報告セグメントに配分していない全社資産になります。全社資産は、主に親会社での余資運用資金(現金)、長期投資資金(投資有価証券)及び管理部門に係る資産等であります。
3. セグメント利益又は損失(△)は、連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。



## (1株当たり情報)

前連結会計年度 (自 2022年10月1日 至 2023年9月30日)		当連結会計年度 (自 2023年10月1日 至 2024年9月30日)	
1株当たり純資産額	129.01円	1株当たり純資産額	196.06円
1株当たり当期純利益金額	57.56円	1株当たり当期純利益金額	47.04円
潜在株式調整後1株当たり当期純利益金額	—	潜在株式調整後1株当たり当期純利益金額	—

- (注) 1. 当連結会計年度の潜在株式調整後1株当たり当期純利益金額については、希薄化効果を有する潜在株式が存在しないため記載しておりません。  
2. 1株当たり当期純利益金額及び潜在株式調整後1株当たり当期純利益金額の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前連結会計年度 (自 2022年10月1日 至 2023年9月30日)	当連結会計年度 (自 2023年10月1日 至 2024年9月30日)
1株当たり当期純利益又は当期純損失金額		
親会社株主に帰属する当期純利益 (百万円)	748	611
普通株主に帰属しない金額 (百万円)	—	—
普通株式に係る親会社株主に帰属する当期純利益 (百万円)	748	611
普通株式の期中平均株式数 (株)	13,009,983	13,009,315
潜在株式調整後1株当たり当期純利益金額		
親会社株主に帰属する当期純利益調整額 (百万円)	—	—
普通株式増加数 (株)	—	—
(うち新株予約権 (株))	(—)	(—)
希薄化効果を有しないため、潜在株式調整後1株当たり当期純利益金額の算定に含めなかった潜在株式の概要	(連結子会社) 株式会社NEXYZ. 東日本 新株予約権2種類 (普通株式 2,531株) 転換社債型新株予約権付社債 3種類 (普通株式 2,711株)	(連結子会社) 株式会社NEXYZ. 東日本 新株予約権2種類 (普通株式 2,531株) 転換社債型新株予約権付社債 3種類 (普通株式 2,711株)

- (注) 潜在株式調整後1株当たり当期純利益金額については、希薄化効果を有する潜在株式が存在しないため記載しておりません。

## (重要な後発事象)

該当事項はありません。